

## 龍興院浄縁の碑使用規約

### 第1条 名称、管理、運営について

- ① 龍興院永代供養墓は「龍興院永代供養墓浄縁の碑」と称します。
- ② 管理・運営は宗教法人龍興院（以下「当院」という）がこれにあたります。

### 第2条 永代供養を申し込む方は

- ① 当規約を遵守してください。
- ② 当院住職が承認し当寺と仏縁を結ぶ方であれば過去の宗旨・宗派を問いません。
- ③ 生前申込み・ご遺骨での申込み共に受け付けます。申込用紙に必要事項を記入し、立会人（連絡人）と連署・捺印の上お申込みください。

### 第3条 納骨について

- ① 納骨は随時受け付けます。
- ② 当初より合祀、または個別安置（33年間安置）のいずれかを選ぶ事ができます。
- ③ 事情の如何に関わらず、一旦納骨したご遺骨は返還できません。（ただし、個別安置中のご遺骨はこの限りではありません。）
- ④ 火葬した人骨のみ納骨できます。

### 第4条 ご遺骨を個別安置される場合は個別墓碑を奉安します。（33年間）

### 第5条 法要について

- ① 納骨・永代供養に関する法要や儀式は当院が執行します。
- ② 永代供養を付された霊位は浄縁の碑過去帳に記帳します。
- ③ 毎年総供養を厳修します。
- ④ 個別の法要やご回向については施主と当寺の間で相談の上お勤めします。

### 第6条 志納料について

- ① 永代供養料などの志納料は別途定めます。
- ② 一旦納入された志納料は理由の如何を問わず返還できません。

### 第7条 その他

本規約に定めのない事項に関してはそのつど当院とお施主の間で相談の上決定します。

以上

## ■龍興院はこんなお寺です。

宗 派：浄土宗

宗 祖：法然上人

ご本尊：阿弥陀如来

寺 暦：400年余（1601年 文禄2年開創）

### 主な行事

- 春彼岸会（3月）
- 施餓鬼会（6月第3日曜日）
- お盆（7月）
- 秋彼岸会・浄縁の碑総供養会（9月）
- 十夜（11月第3日曜日）
- 写経会（毎月最終日曜日）
- 龍興院俳句の会（毎月）

### ■交通のご案内

#### 電車では

- JR「錦糸町駅」より徒歩約15分
- 都営地下鉄 浅草線「本所吾妻橋駅」より徒歩約15分

#### バスでは

- 大塚駅⇄錦糸町駅前（都02・文京区役所・御徒町町経由）  
「太平1丁目」バス停下車 徒歩約3分
- 東大島駅⇄浅草寿町（亀24乙・亀戸駅経由）  
「横川橋」バス停下車 徒歩約3分



## 常在山 龍興院

〒130-0003 東京都墨田区横川1丁目3番18号  
TEL/FAX 03-3622-7741

常在山 龍興院 浄縁の碑



## 現代人のための新しいお墓をご提案します

核家族化、少子化、非婚の増加など、現代社会の急激な変化にともない、私たちの生活様式も大きく変わってまいりました。当院でも「跡継ぎがなく、自分たちも含めてご先祖様をどのようにお祀りしていったらよいでしょうか」と言ったご相談が寄せられています。

## お墓を建てても将来が不安…でもご安心下さい

永代にわたって当院が責任をもってご供養いたします。後継者がなくても無縁になる心配はありません。来世もさることながら、何よりも今この生を安らかに生きいきとお過ごしいただきたいと願います。

## このような方々にお勧めします。

- お墓を継ぐ方がおられない  
「自分のお墓をどうしよう…跡継ぎがないから無縁になってしまうし…」
- 家の墓ではなく、個人のお墓を建てたい  
「事情があって今あるお墓に入れられないひとりだけのお墓を建てたい」
- 亡きご両親のお墓を建てたい  
「一人っ子で嫁ぎ先のお墓には入れられないし、両親のお墓をどうしよう…」
- 亡き縁者のお墓を建てたい  
「生前お世話になった方のお墓を建てたい」

- 過去の宗旨・宗派を問わずお申し込みいただけます。
- 生前、ご遺骨、どちらでもお申し込みいただけます。

詳しくは、当院におたずねください。  
仏事やご葬儀についてのご相談も承ります。  
お気軽にお問い合わせください。



## ご供養について

- 「浄縁の碑過去帳」にお戒名を記帳します。
- 秋彼岸会に総供養申し上げます。
- 年忌などのご回向は、お話し合いの上、個々にお勤めいたします。

## お祀りの仕方をお選びいただけます

- ① 合祀散骨  
当初からご遺骨を合祀します。
- ② 個別安置  
ご遺骨を骨壺のまま安置し  
個別墓碑を奉安します。(33年間)  
お戒名を3霊まで刻字できます。



個別墓碑



● 山門



● 唐招提寺様式の本堂



● 浄縁の碑



● 本堂内陣  
落ち着いた佇まいの本堂。壁面の雲中供養菩薩が妙なる衆を奏でます。



● 寺宝 十一面観世音菩薩像  
(木彫寄木造)



● 寺宝 地藏菩薩像(木彫寄木造)